

ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2017 企画概要（案）

日時：平成 29 年 11 月 24 日、25 日（2 日間）

初日（金）午後スタート、2 日目（土）早い午後終了

会場：立教大学（予定）

参加者数：100～150 人程度を想定

主催：ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省

共催：立教大学 ESD 研究所（予定）

目的：

- ・ ESD 推進ネットワークと全国センター、地方センターに関する理解を広める。
- ・ 分野、セクターを超えて多様な主体が連携・協働して ESD を推進（質的向上・量的拡大）するために、お互いに面識をつくり、実践例をもとに学び合い、ESD 推進方策について意見交換を行う機会をつくる。

期待される成果：

- ・ ESD 推進ネットワーク、全国センター、地方センターの周知
- ・ 地域 ESD 拠点に関する理解の深化
- ・ これまで以上に多様なステークホルダーの協働の促進

プログラム（たたき台）：

○ 全体構成

	午前	午後	夜
11 月 24 日（金）	<u>ESD 実践見学（検討中）</u> 希望者による学校や学校 以外の ESD の現場や施設 見学	フォーラム 13 時開会 ～17 時 30 分 （4 時間 30 分）	交流会 〈会費制〉

11月25日(土)	フォーラム 9時30分～12時 (2時間30分)	フォーラム、閉会 13時～15時(2時間) センター(全国・地方)非公式連絡会 (検討中) 15時30分～16時30分	
11月26日(日)	希望者のみ：全国センターと振り返りの会		

○ 個別セッション構成

◆ 初日午後：全体セッション(4時間30分)

開会(15分)		
開会挨拶 ESD活動支援センター 文部科学省、環境省 事務連絡等		
1. これまでのESD活動の振り返り(166分)		
① 文部科学省関係の取り組み	文科省	20分
② 環境省関係の取り組み	環境省	20分
③ ユネスコスクールとASPUivNet		12分
④ ESDコンソーシアム		12分
⑤ ホールシティ・アプローチ		12分
休憩(10分)		
⑥ ESD環境教育プログラム実証等事業/ 先導的拠点形成事業		12分
⑦ RCE/ProSPERNet		12分
⑧ ユネスコ協会の取り組み		12分
⑨ 企業・経済界の取り組み		12分
⑩ NPO/NGO/公益法人等の取り組み		12分
⑪ 登壇者同士の振り返り・会場との質疑応答	登壇者	30分
休憩(15分)		
2. 関係省庁のESD関連施策とESD推進ネットワークへの期待(30分)		
	① 外務省	15分
	② 消費者庁	15分
3. ESD推進ネットワークとESD活動支援センター(全国・地方)(30分)		
① 推進ネットワーク紹介	全国センター	6分
② フリップボード(キーワード掲示)方式に	地方センター担当者(各3分)	24分

よる地方センター紹介		
事務連絡：翌日の案内等（4分）		

◆ 2日目午前 分科会 （2時間 30分）

分科会テーマ案

分科会①：グローバル化する地域

分科会②：消費者教育（食品ロス削減、ライフスタイルの見直し等）

分科会③：SDGs と ESD

分科会④：地域 ESD 拠点

1. 全体会：分科会進め方の説明	10分
移動	10分
2. 分科会（130分）	
① 導入	10分
② 事例発表（1～2件） *発表は、できるだけ地域 ESD 拠点に依頼する。	40分
③ グループ討議	65分
④ 総括	15分

◆ 2日目午後 全体会 （2時間）

① 分科会結果の発表（各 10分）	40分
② 質疑・意見交換	20分
③ 全体討議	40分
④ 総括	15分
閉会	5分

2. 検討課題

- ・ネットワーク、特に地方センターの効果的なハイライト方法
- ・学校関係者の参加数の増加
- ・参加者の多様性の確保
- ・地域 ESD 拠点のみが集合する機会